

第2回中山間地域振興協議会 議事概要

【日時】 H26. 2. 19 (水) 14:00～14:50

1 開会（知事コメント）

本日は、中山間地域が、今後とも、広島県の宝として、住み続けてよかったと思える地域であり続けるために、中山間地域振興計画の中間とりまとめ本部案の構成などについて意見交換をさせていただきたいと考えている。

2 議事について

中山間地域の振興に向けた基本的な考え方について意見交換を行った。

主な意見は次のとおり。

[全体について]

- ・振興対策としては、総花的な対策ではなく、カンフル剤的な対応が重要ではないか。
- ・市町ごとが抱える課題を集約して、計画に反映させていくことが大事である。
- ・過疎対策と併せて、過密対策を進めていかなければいけないのではないか。
- ・中山間地域を蘇らせようとする、相当問題意識を持って取り組む必要がある。現代を構成する価値観自体を大きく変えていく必要も出てくると思う。
- ・都市と田舎の相互関係の中で中山間地域が維持されてきたという実態を考えると、地産地消や地場産業のような、本当に田舎を成り立たせるための経済構造の構築にチャレンジしなければ、都市だけが発展し田舎は捨て去られる構図を打破できないのではないか。

[個別取組みについて]

- ・中山間地域の価値として、もっと県として国土保全の大切さを打ち出してほしい。
- ・市町はそれぞれ考えをもって取り組んでいる。市町が中長期で取り組んでいることに県の支援があれば良いと感じる。また、それぞれの市町の良い事業を、県がピックアップし、市町が共有し合えるような仕組みができれば良いと思う。
- ・広大な土地を利用した太陽光や再生エネルギー開発等をまちづくりに活かさないか。
- ・芸能、文化等の財産を県外にPRしていくにあたり県にも力添えをしていただきたい。
- ・集落支援員や地域おこし協力隊の導入への支援など、地域に若い人が定着していくような施策を打ち出してもらいたい。